

CAOメッセージ



成果とアウトプットを重視し、社員一人ひとりが最高のパフォーマンスを発揮できる風土を目指しています”

取締役 執行役 CAO(最高管理責任者)兼
CSO(経営戦略統括役員)兼
ESGオフィサー(ESG担当役員)
シュテファン・カウフマン

Transform Olympusを通じてグローバルなマインドセットを醸成し、成長を促進

ここ数年は経済的・政治的に不確実性の高い状況ですが、2022年3月期はオリンパスにとって非常に特別で、実りのある年となりました。Transform Olympusでは、過去3年間で1,000件以上の取り組みを実施し、すべての機能、すべての地域で日々改善に努めてきました。従業員の多大な努力により、オリンパスは売上高や利益の面でより強固になっただけでなく、全社的により効率的で、健全な組織になったことを非常に嬉しく思います。

これまでの変革は長く、厳しくもありましたが、やりがいのあるものでした。忍耐力と柔軟性を持って、前向きな姿勢を示してくれたすべての従業員に感謝しています。今後もTransform Olympusで培ってきたケイパビリティ(能力)や方法に磨きをかけ、理想的な企業文化を実現していくとともに、従業員一人ひとりが日々の業務にグローバルな視点を取り入れることで、成長志向をさらに強めていきます。

2023年3月期における主な目標

2023年3月期においては、社内プロセスの標準化、集約、および整合を図り、効率性の向上に注力します。例としては、グローバルビジネスサービス(GBS)の展開(詳細はP.65)、健やかな組織文化の実現(詳細はP.66)、ITインフラおよび情報セキュリティの強化です。戦略的で変革に寄与するプロジェクトや、IT技術関連のプロジェクトへより適切に経営資源を配分することで、投資効果を高めていきます。

2023年3月期に計画している取り組みはいずれも重要ですが、私が最も緊急性を感じているのは、ITインフラと情報セキュリティです。私とIT関連のリーダー層は、業務のデジタル化が

進んでおり、今後も加速度的に進展すると予想しています。ITサービス・製品によって従業員の生産性と効率性は向上し続けるでしょう。しかし、デジタル化はリスクも伴うため、全員がITセキュリティをより意識する必要があります。

もう一つ、私が強調したい一点は、従業員エンゲージメントです。最高のサービスをお客様に確実に提供するためには、従業員が会社へのエンゲージメントを高め、自らの能力を最大限発揮する必要があります。パーパス・ドリブンな企業であることと、人材中心の企業であることのバランスが重要で、私たちは組織の健全性をさらに向上させるための包括的なアクションプランを作成しています。何よりもまず、従業員が自信を持って現状を打破する挑戦ができる風土を醸成したいと考えています。また、グローバル企業として、すべての後継者候補を活かすためには、グローバルなサクセッションプランが重要です。今後は、サクセッションプランの対象を上位職だけでなく、すべての役職に広げていく予定です。

最後に、ESGの重要性について述べたいと思います。2022年4月から、私はESG担当役員に就任しました。今後もESGの考え方を事業戦略に組み込み、オリンパスをサステナブルな企業にしていきます。直近では、管理職を含めフレキシブルな働き方を進めることによって女性従業員をさらに登用するなど、家庭と仕事の両立を支援しています。